

令和4年度 第2回 いじめ実態調査 全校
7月～11月末

資料3

1 いじめ実態把握のための調査方法 【校】

	小学校	中学校
ア アンケート調査	16	9
イ 教育相談（面談）	16	9
ウ 生活記録相談ノート等	2	8
エ 相談ポスト	6	3
オ その他	2	1

2 いじめの認知状況

【認知件数】

【件】

【参考】令和3年度7月～11月調査結果

		件数
小学校	すでに解消しているもの	96
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	233
	解消に向けて取組中のもの	21
	合計	350
中学校	すでに解消しているもの	55
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	106
	解消に向けて取組中のもの	35
	合計	196

すべて	定義
58	52
235	130
39	38
332	220
53	46
85	80
15	13
153	139

いじめ1,000人当たりの認知件数…小：43.6 中：47.1 全：44.8

【認知状況分布】

【校】

	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上
件数(小)	0	4	2	2	2	2	1	3
件数(中)	0	1	1	1	3	0	1	2

3 いじめの事実を最初にどのようにして見つけたか 【件】

	小学校		中学校	
	件数		件数	
学校	学級担任	71	27	
	担任以外の教職員	4	3	
	カウンセラーや相談員	0	0	
	養護教諭	1	0	
	アンケート調査	119	115	
学校以外	本人から	105	27	
	本人の保護者から	42	4	
	他の児童生徒から	7	21	
	他の保護者から	1	0	
	第三者から	0	0	
	その他	0	0	
合計	350	197		

4 学校が行ったいじめ問題に対する日常の取り組み 【校】

	小学校	中学校
職員会議等で教職員の共通理解	16	9
道徳・学活等で取り上げ指導	16	8
全校集会・学年集会等で指導	11	7
児童・生徒会活動等を通していじめ問題を考えさせる	2	1
人間関係づくりや仲間づくりを促進する活動	16	9
カウンセラー、相談員、養護教諭による相談	12	9
教育相談体制などの校内組織の整備	14	6
学校以外の相談窓口の周知など専門機関との連携	13	8
いじめ対応方針や指導計画の外部への公表	14	8
P T A・地域関係団体とともにいじめ問題について協議	2	1
地域の関係機関との連携協力	1	2
学級通信・学年通信・学校通信等での取り扱いによる意識高揚	3	4
その他	1	0

5 校内いじめ対策委員会の開催数

【校】

	1回	2回	3回	4回	5回以上
小学校	14	0	0	2	0
中学校	2	2	1	1	3